

モニタリング結果報告書

施設名：四季の森公園
指定管理者：横浜緑地・西武造園グループ
施設所管課（事務所名）：横浜川崎治水事務所

（平成21年度 下半期）

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考（確認事項等）
10月	11月11日	11月30日	月例報告、現地確認等
11月	12月10日	12月28日	月例報告、現地確認等
12月	1月12日	1月29日	月例報告、現地確認等
1月	2月10日	3月2日	月例報告、現地確認等
2月	3月10日	3月30日	月例報告、現地確認等
3月	4月12日	4月30日	月例報告、現地確認等

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A：提案を上回る B：提案どおり C：提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

<提案内容の概要>

四季の森公園は、市街地に残された貴重な自然樹林や雑木林を有する風致公園であり、県民とともにこの自然環境を保全しつつ、里山体験や四季折々の自然とのふれあいを提供できる「ふるさとの森」「レクリエーションの森」を目指して整備されていることから、公園内に点在している里山要素やレクリエーション要素の「質」を高めるとともに、さらに里山を補完する要素を取り入れ、融合させることで、里山景観・里山利用・里山体験などの「密度」を高めていきます。そして、このような里山が凝縮された公園内をめぐり遊ぶことで、里山について楽しみ、深く知ることができる里山フィールドミュージアムとして発展させ、県民の方々に里山の魅力を体験して頂きます。

<実施状況>

噴水、じゃぶじゃぶ池等の水景施設や菖蒲園、ホタルの適切な維持管理を実施した。

その他、道路や住宅隣接地の除草や剪定、遊具の安全点検、池の清掃など公園利用者や周辺住民への安全、安心に配慮した維持管理に努めた。

じゃぶじゃぶ池周辺の日陰が少ない場所には、移動式の日除けやベンチを設置し、来園者に大変好評であった。

利用促進として数多くのイベントを実施、ボランティアとの協働イベント等公園の魅力アップイベント等を通じ公園利用の拡大・促進を行った。

園内の樹林地は、殆どが手つかずの状態でも薄暗いイメージであることから、特に来園者の安心・安全を図るため、園路・広場等の支障木・危険木等の枝払いや伐採等を行い、園内を少しでも明るい雰囲気イメージづくりをすべく、順次実施していく予定である。

3 収支状況

(単位：千円)

	収入額			支出額	収支差額
	指定管理料	利用料金 (前年同月料金額)	その他収入 (前年同月料金額)		
年間予算額	90,259	78,330	0	90,259	0
上半期計 (a)	47,263	39,797	0 (0)	41,834 (6,893)	5,429
下半期計 (b)	42,858	38,533	0 (0)	46,010 (5,251)	△ 3,152
10月	7,559	6,474	0 (0)	5,891 (1,237)	1,668
11月	7,798	6,647	0 (0)	9,150 (1,184)	△ 1,352
12月	6,445	6,053	0 (0)	6,511 (439)	△ 66
1月	6,872	6,219	0 (0)	6,806 (561)	66
2月	6,308	5,976	0 (0)	7,093 (951)	△ 785
3月	7,876	7,164	0 (0)	10,559 (879)	△ 2,683
合計 (a+b)	90,121	78,330	0 (0)	87,844 (12,144)	2,277

1 指定管理者の収入を記載する(県の収入である「使用料」は含まない)。

2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

駐車場収入の実績は、計画に対して98.8%と計画を下まわった。収入計の実績は、計画に対して99.8% △137,830円と計画を下まわった。支出計の実績は、当初計画に対して97.3% △2,415,257円下まわった。収支差については2,277,427円となり、収入の実績を支出実績が下まわった。これは、じゃぶじゃぶ池や噴水の流水使用を天候にあわせ、こまめに調整したこと。漏水の減額申請を二度行ったこと。漏水の復旧工事により使用料が減少したこと等により、光熱水費が当初見込額より減額となった。また、伐木等をチップ処理やカントリーヘッジ等で処理したことにより、処分費が減額となった。さらに、アルバイトの時給が当初見込みよりも低かったこと等の理由により、収支差額が生じたものであり、やむを得ないものと思われる。

(今期に行った資本的な収入及び支出の状況)

	内容	金額(千円)
収入の状況	該当なし	
支出の状況	該当なし	

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。

支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。

積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容(施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等)、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	384,584人	340,036人	13.1%
下半期計 (b)	292,364人	295,598人	△1.1%
10月	117,122人	114,319人	2.5%
11月	44,607人	46,636人	△4.4%
12月	29,182人	29,000人	0.6%
1月	35,919人	27,070人	32.7%
2月	21,616人	34,181人	△36.8%
3月	43,918人	44,392人	△1.1%
合計 (a+b)	676,948人	635,634人	6.5%

利用状況に関する意見等

〔 半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。 〕

5 苦情・要望等の状況 (施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
10月	3				18	21
11月	3	1	1		7	12
12月	2				12	14
1月	3	2			4	9
2月		2			4	6
3月	4				7	11

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
10月		1	1
11月			
12月			
1月			
2月		1	1
3月			

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

〔 類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。 〕

分野	概要	対応状況
施設・設備	・トイレを洋式に変えてほしい	洋式の場所を紹介
	・身障者トイレのドアが重い	潤滑材の日常的管理をするようにする
職員対応	・管理用車両の走行速度が速い	職員に徐行徹底を指示
	・売店の対応	偕恵園に改善を要望
事業内容	・草刈り、花の管理が悪い	早めの作業と管理方法の説明
	・炭焼きの臭いと煙で眠れない	炭焼きを当面中止
その他	・犬のいない公園にしてほしい	マナーの呼びかけを常時しています
	・	

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政システム改革推進課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
月 日	特になし
月 日	
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日		特になし	
月 日			

9 下半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	<p>じゃぶじゃぶ池や噴水の流水使用を天候にあわせ、こまめに調整したことにより、光熱水費が当初見込額より減額となった。また、伐木等をチップ処理やカントリーヘッジ等で処理したことにより、処分費が減額となった。さらに、アルバイトも近隣周辺からの採用により、交通費の削減を図ることが出来た。ボランティアとの協働イベント等公園の魅力アップイベント等を通じ公園利用の拡大・促進を行った。</p>
施設所管課	<p>管理手法を変更した場合は、来園者に誤解を与えないよう変更の主旨を周知する必要がある。炭焼きの臭い・煙により眠れないとの苦情から、長年ボランティアにより実施してきた炭焼きを中止せざるを得なかった。次年度は何らかの対応を検討し、炭焼きが出来る環境を整えたい。ボランティアとの協働イベントを積極的に活用し、公園の利用促進を図った。公園利用者へのサービス向上を図る上で、接客対応等の向上を目指す必要がある。</p>